

ソフト対策

(1) 地域毎の緊急避難タイムライン（洪水）の作成（短期対策）

※ 浸水地域の全戸に配布・市ホームページに掲載

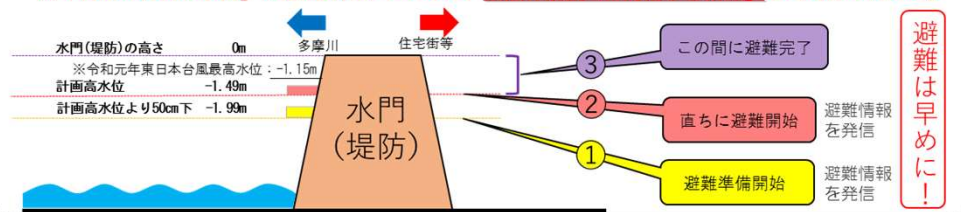
① 河港水門周辺地域の緊急避難タイムライン（洪水）【抜粋】

■ 避難の目安（令和元年東日本台風の水位情報を基に作成しています）

避難勧告等が出た場合は、下の水位に達していなくても避難行動を開始してください。

判断の目安の水位 (河港水門)	住民がとるべき行動	情報入手方法
-1.49m~0m	③ この水位の間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了	・メールニュースかわさき受信 ※情報の入手先については「台風や大雨に備えて」を御覧ください。
-1.49m	② 直ちに避難開始 ・緊急避難場所等の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始	・HPの水位計及びカメラで状況確認 ※情報の入手については下図QRコードを御覧ください。
-1.99m	① 避難準備開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい、協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始	・広報車による巡回 ・防災行政無線 ※多摩川の状況に基づく

※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3.発信する情報」をご確認ください。



■ 河港水門周辺における緊急避難場所



② 平瀬川最下流部における避難行動のタイムライン（洪水）【抜粋】

● 避難の目安

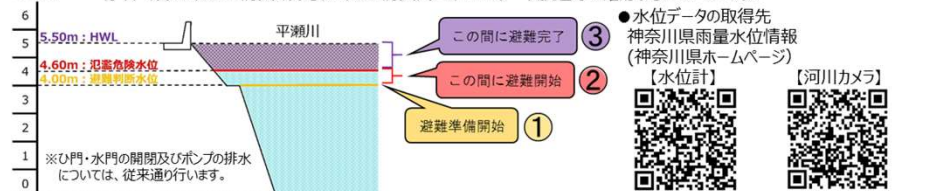
※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3. 発信する情報」をご確認ください。

【判断の目安の水位】 (水位：平瀬橋観測所)	【発信する情報】(※1)	【警戒レベル】	【住民がとるべき行動】
水位 4.60m 【氾濫危険水位】 ~5.50m 【計画高水位:HWL】	避難指示（緊急）	レベル4	③ この間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了
水位 4.00m 【避難判断水位】 ~4.60m 【氾濫危険水位】	避難勧告		② この間に避難開始 ・指定緊急避難場所等(※2)の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始
水位 4.00m 【避難判断水位】	避難準備 高齢者等の避難開始	レベル3	① 避難準備の開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始

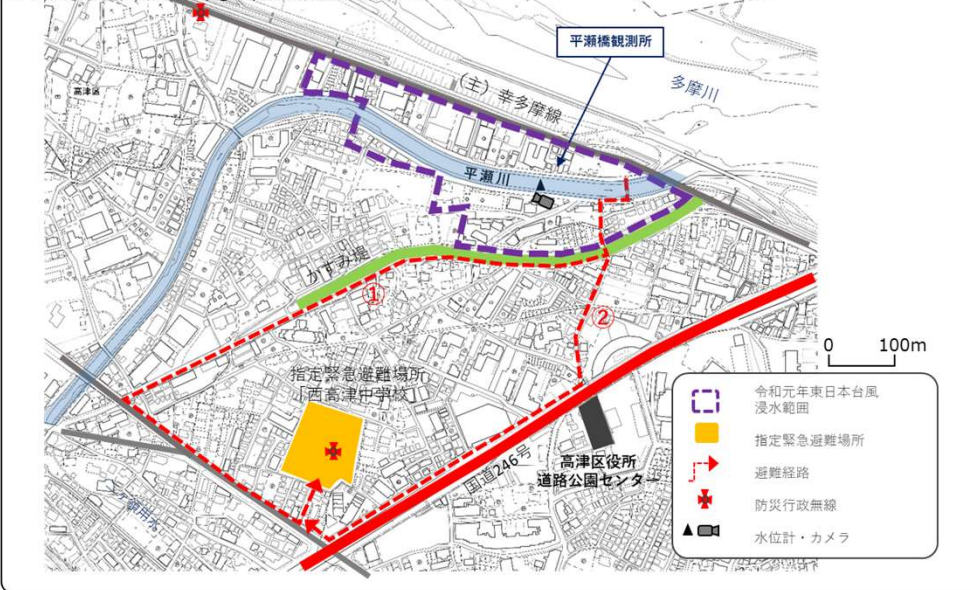
※1 避難勧告等の発令は、防災行政無線や広報車両による広報等により伝達されます。

河川の水位が上記水位に達していなくても避難勧告等が発令される場合がありますので、早めの避難行動を心掛けてください。

※2 開設中の指定緊急避難場所は、防災情報ポータルサイト、市ホームページ緊急情報、メールニュースかわさき「防災気象情報」、ガイドマップかわさき「防災マップ」、かわさき防災アプリ、NHKデータ放送等で確認することができます。



● 平瀬川最下流部における指定緊急避難場所



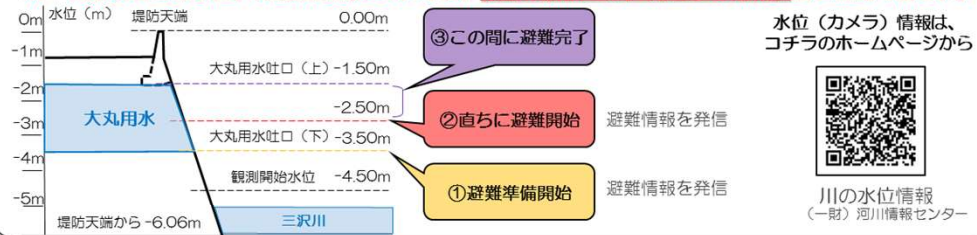
③三沢川下流部周辺地域の緊急避難タイムライン(洪水)【抜粋】

■避難の目安(令和元年東日本台風の水位情報を基に作成しています。)

多摩川の避難勧告等が出た場合は、下の水位に達していなくても避難行動を開始してください。

判断の目安の水位 (南武線下流簡易水位計)	住民がとるべき行動	情報入手方法
③ 水位 -2.50m ~-1.50m	この水位の間に避難完了 ・避難中の住民は、確実な避難を直ちに完了 ・避難行動に余裕がない場合は、屋内の安全な場所等に退避するなど、生命を守る最低限の行動完了	HPの水位計及びカメラで状況確認
② 水位 -2.50m	直ちに避難開始 ・緊急避難場所等の安全な場所への立ち退き避難開始 ・屋内の安全な場所への避難開始	HPの水位計及びカメラで状況確認
① 水位 -3.50m	避難準備開始・高齢者等の避難開始 ・高齢者等の避難行動に時間がかかる方は、避難行動を開始 ・高齢者等の方が避難の際は、近隣の方々と声をかけあい、協力しながら避難 ・それ以外の住民は、避難準備を開始	メールニュースかわさき受信 パトロール車等による広報

※「判断の目安の水位」の設定方法については、裏面の解説「3. 発信する情報」をご確認ください。



(2)地域防災力の向上に向けた取組(中長期対策)

令和元年東日本台風において浸水被害が発生した3地域(河港水門周辺、平瀬川下流部、三沢川下流部周辺)において、減災を目的とした住民主体の防災活動の活性化に向けた支援を行う。令和2年度は、地域主体の防災計画(マイタイムライン、地域タイムライン)の策定及び実行に向けた体制づくりを支援することを目的として住民参加型のワークショップの企画立案を行い、令和3年度に開催する。

ア. 全体スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
企画立案 (地域防災力の向上に向けた取組の検討業務委託)	▶		
ワークショップ等の開催		▶	
継続支援			▶

イ. 実施内容

- 令和2年度 : 企画立案、検討業務委託
防災ワークショップの実施内容と進め方について区役所、町会等と協議調整
- 令和3年度 : 防災ワークショップの開催(3回/3地域)
(予定) 第1回: 短期対策で作成したタイムライン、本市から発信する防災情報等に関する説明など
第2回: 洪水ハザードマップ等の地図を活用した洪水リスク、危険箇所等の確認など
第3回: マイタイムライン、地域タイムラインの作成など
- 令和4年度 : 地域の防災活動の継続支援